

取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。



家庭用ブースター(屋内/屋外共用)

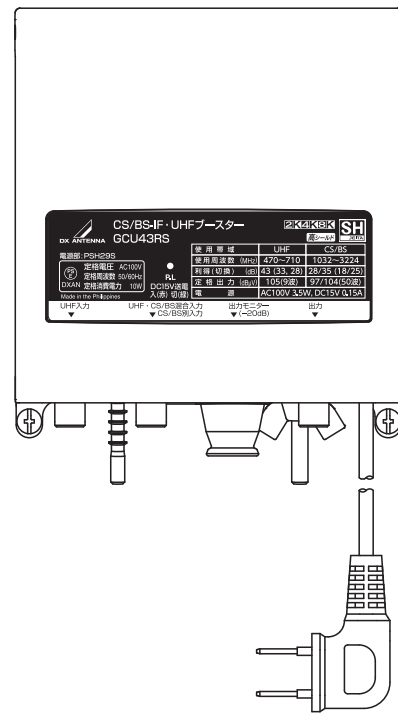
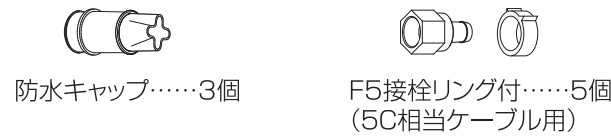
UHF 470~710MHz・CS/BS-IF 1032~3224MHz増幅用
前置ブースター用給電スイッチ付
電源/増幅部内蔵・分離共用形

GCU43RS UHF33dB/43dB 共用形
CS/BS35dB 形

新4K8K衛星放送に対応
すべての2K・4K・8K放送(3224MHz)に対応しています。

本製品はケーブルテレビには使用できません。

付属品



お取り扱いの前に 設置作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえ行ってください。

- ブースターを落としたり、ぶつけたりしないよう注意してください。
- 入出力端子へのF形接栓の接続は、接続ナットを2N・mで締め付けてください(締め付けの過不足は故障や障害の原因となります)。
- 4K・8K放送(新4K8K衛星放送)を見るためには、3224MHzまで対応した同軸ケーブルや4K・8K対応のBS・110度CSアンテナなどの機器が必要です。
- 電源分離で使用する場合は、必ず電源部を屋内か防水防雨ならびに放熱処理を施した収容箱などに収容してください。
- 電源部(PSH29S)は、この製品の増幅部以外には使用しないでください。

規格表

品名 / 型番	CS/BS-IF・UHFブースター / GCU43RS	
使用帯域	UHF	CS/BS-IF
周波数帯域 (MHz)	470~710	1032~3224
入力レベル範囲 (dBμV)	41~62 (77) (注1)	44~69 (79) (注2)
標準利得 (dB)	43	28/31/35(1032/2150/3224MHz)
定格出力レベル (dBμV)	105(9波)	97/100/104(1032/2150/3224MHz)
利得切換(入力レベル調整) (dB)	28, 33, 43 (スイッチ切換式) (注1)	18/25, 28/35(スイッチ切換式) (注2)
利得調整範囲 (dB)	0~-10以上(連続可変)	0~-10以上(連続可変)
帯域内周波数特性 (dB)	±2.5以内	全帯域で±3.0以内 任意の34.5MHzで±2.0以内
雑音指数 (dB)	2.5以下 (注3)	8.0以下
入出力インピーダンス (Ω)	75 (F形)	
V S W R	3.0以下	2.5以下
相互変調 (IM3) (dB)	-68以下 (注4)	-
C I N (dB)	-	-22以下 (注4)
出力モニター (dB)	-20	
耐衝撃波	入出力端子・電源端子JEC: ±25kV(1.2/50μs)、 IEC: ±15kV, ±1.5kA(1.2/50-8/20μs コンビネーション)	
直流供給電源	DC15V/0.05A	DC15V/0.27A
電源 / 消費電力 (電原: PSH29S使用時)	AC100V(50/60Hz) / 3.5W, 4.5W (注5), 8.5W (注6), 9.4W (注7) DC15V / 0.15A, 0.20A (注5), 0.42A (注6), 0.47A (注7)	
使用温度範囲 (°C)	-20~+50 (注8)	
漏洩電界強度 (dBμV/m)	34以下	40.2以下
外形寸法 (mm)	132(H)X119(W)X52(D)	
質量 (kg)	0.6	

電源部: PSH29S	
周波数帯域 (MHz)	10~3224
電源 / 定格消費電力	AC100V(50/60Hz) / 10W
重量	DC15V / 0.55A
入出力インピーダンス (Ω)	75 (F形)
挿入損失 (dB)	0~1.2(10~1000MHz) 0~2.0(1000~2610MHz) 0~2.5(2610~3224MHz)
使用温度範囲 (°C)	-10~+40
外形寸法 (mm)	60(H) X 107(W) X 31(D)
質量 (kg)	0.2

(注1)入力レベル範囲に応じて利得切換(入力レベル調整)スイッチを選択してください。
・41~62dBμVの場合: [43dB(0)]
・51~72dBμVの場合: [33dB(-10)]
・56~77dBμVの場合: [28dB(-15)]

(注2)入力レベル範囲に応じて利得切換(入力レベル調整)スイッチを選択してください。
・44~69dBμVの場合: [28/35dB(0)]
・54~79dBμVの場合: [18/25dB(-10)]

(注3)470~500MHz: 2.7以下, 650~710MHz: 3.0以下
(注4)利得最大時
(注5)UHF電源給電時
(注6)CS/BSコンバータ用電源給電時
(注7)CS/BSコンバータ用電源+UHF電源給電時
(注8)電源部を内蔵してご使用いただく場合は-10~+40°Cの範囲でご使用ください。
仕様は改良により、予告なく変更させていただくことがありますのでご了承ください。

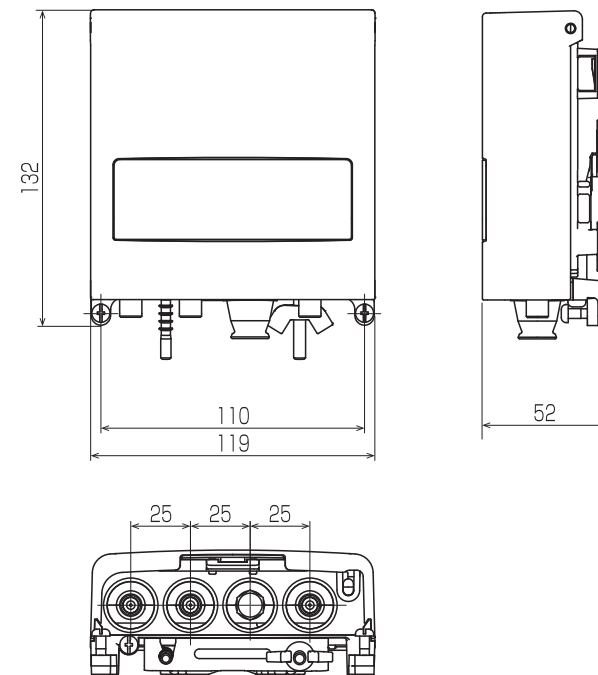
2K4K8K 2K・4K・8K放送対応マークは、BS・110度CSIにて既に放送されている2K放送と4K・8K放送(新4K8K衛星放送)に対応した機器(3224MHz)であることを示します。

高シールド 高シールドマークは、携帯電話や各種無線サービスなどとの電波干渉を抑制するため、厳しい社内基準を基にシールド性を高めた製品であることを示します。

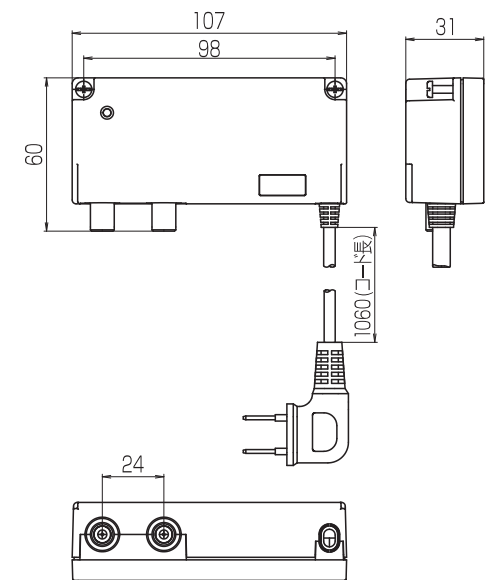
SH SHマーク(スーパーハイビジョン受信マーク)は、BS・110度CS右左旋放送受信帯域に対応した機器のうち、一般社団法人 電子情報技術産業協会が審査・登録され、一定以上の性能を有するスーパーハイビジョン衛星放送受信に適した衛星アンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

外形寸法図

<増幅部>



<電源部: PSH29S>



ブースターの効果について (知っておいていただきたいこと)

このような場合に **効果があります**

- 分配端子が多く、壁面端子レベルが不足する場合
- テレビやデジタルレコーダーを増やしたとき
- 弱電界地域での受信

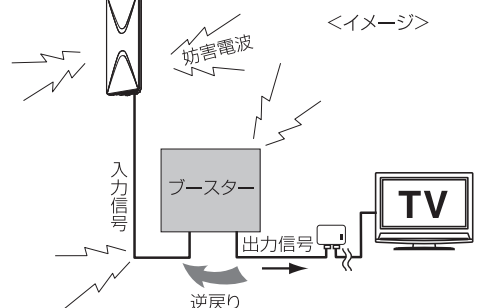
このような場合、ブースターを使用しても **効果がありません**

- 電波の受信品質が低い

例えは……
・視聴エリアではない電波塔にアンテナを向けている
・ブースターを接続する前の方がよく映っていた
・朝夕で映らないチャンネルがある など

受信品質を向上させるため、アンテナを再調整したり、アンテナを変更する必要があります。
↓
工事店にご相談ください

注意 ブースターは正しくお使いください。



ブースターは信号を増幅する機能上、正しく取り付けないと、自分の家やご近所のテレビの映りが悪くなることがあります。

- 入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書に従い確実にこなう
- 入力側と出力側のケーブルは、束ねたりブースターに巻きつけない
- 配線には必ず同軸ケーブルを使う
- アンテナマストに取り付ける場合、アンテナとブースターの距離を1m以上離す

ブースターを正しく使用しないと、ブースター内で増幅された出力信号が正常にテレビへ送られず、また出力信号の一部が入力側に逆戻りして、発振(妨害電波を発生する現象)を起こすことがあります。一台のブースターが発振を起こすと、ご近所の数十台、数百台のテレビの映りが悪くなることがあります。

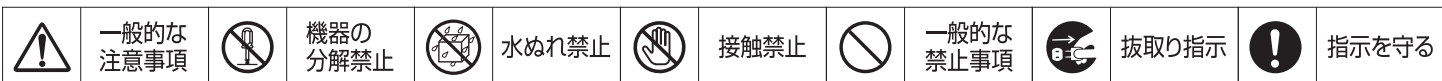
※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。



スマートフォンで各種設定方法がわかる⇒
ホームページでも初期設定や、各種端末の詳しい手順を確認できます。
QRコードからアクセスしてください。

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



警告 誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの

異常があるときは、すぐに使用をやめる
煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用しない

火災や感電の原因となります。すぐに電源コードをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店・カスタマーセンターにご相談ください。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しない
火災や感電の原因となります。

同軸ケーブルには電流が流れることがありますので、電流を流す場合、途中には通電形機器以外は絶対に挿入しない

通電形機器を挿入する場合は通電端子をよく確かめてお使いください。もし、非通電形機器を挿入しますと、回路やケーブルがショートして、火災や感電の原因となります。

電源プラグは、コンセントの根元までしっかりと差し込む
ゴミやほこりが付着しているときは拭き取ってください。火災の原因となります。

電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを触らない
感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、製品には触れない
感電の原因となります。

同軸ケーブルを傷つけたりしない

本製品に接続する同軸ケーブルには電流が流れることがあります。接続や接栓の加工などで心線と編組を接触させたり、同軸ケーブルを傷つけたりしないようにしてください。火災や感電の原因となります。

電源コードや同軸ケーブルを接続した状態で移動しない
接続した状態で移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

ケースが破損した場合は、電源コードや同軸ケーブルを抜く
本製品から電源コードや同軸ケーブルを抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

製品にテーブルクロスやカーテンなどの燃えやすいものを掛けたり、じゅうたんや布団のうえに置かない
熱がこもり、火災の原因となります。

製品を分解・改造しない
感電やけがの原因となります。また、製品の性能が維持できなくなり、故障の原因となります。

指示を守る

禁止

禁止

指示を守る

抜取り指示

接触禁止

接触禁止

禁止

禁止

抜取り指示

禁止

分解禁止

製品内部に水が入ったり、ぬれたりしないようにカバーを正しく閉め、また、接続する同軸ケーブルには防水キャップを正しく取り付け

万一、内部に水などが入った場合は、まず本製品の電源プラグをコンセントから抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

電源内蔵で屋外設置する場合は、電源部のACコードに水がかからない場所に設置する

水がかからない軒下や家屋の側壁などに設置してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

製品内部に水などが入った場合や、落として破損した場合は、すぐに接続している電源コードを抜く

万一、落としたり、内部に水などが入った場合は、まず本製品に接続している電源コードをコンセントから抜いて、販売店・カスタマーセンターにご相談ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。

ブースター電源部を以下の場所に設置しない

変形や火災、感電など事故の原因となり、製品寿命が短くなることがあります。

- ・直射日光の当たる場所
- ・放熱機能のないボックス内
- ・屋外・風呂場・洗い場・水がかかる場所
- ・湿気やほこりの多い場所
- ・調理台や加湿器のそばなど高温になる場所
- ・油煙や湯気があたる場所

以下の場所に設置しない

落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となります。

- ・強度の弱い場所
- ・不安定な場所
- ・ぐらついたり振動したりする場所
- ・傾いた場所

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
また、重いものをのせたり、加熱したり(熱器具に近づける)しない

火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだとき(心線の露出、断線など)はお買い上げの販売店・工事店にご相談ください。

製品内部に異物などを差し込まない

製品の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。火災や感電の原因となります。

取り付けネジや接栓の締め付け力(トルク)に指定がある場合は、その力(トルク)で締め付け、固定する
落ちたり、破損したりして、けがや故障の原因となります。

注意

AMラジオから1.5m以上離して使用する
AMラジオの近くで使用するとラジオ音声にノイズが入る場合があります。

抜取り指示

水ぬれ禁止

禁止

抜取り指示

禁止

水ぬれ禁止

禁止

禁止

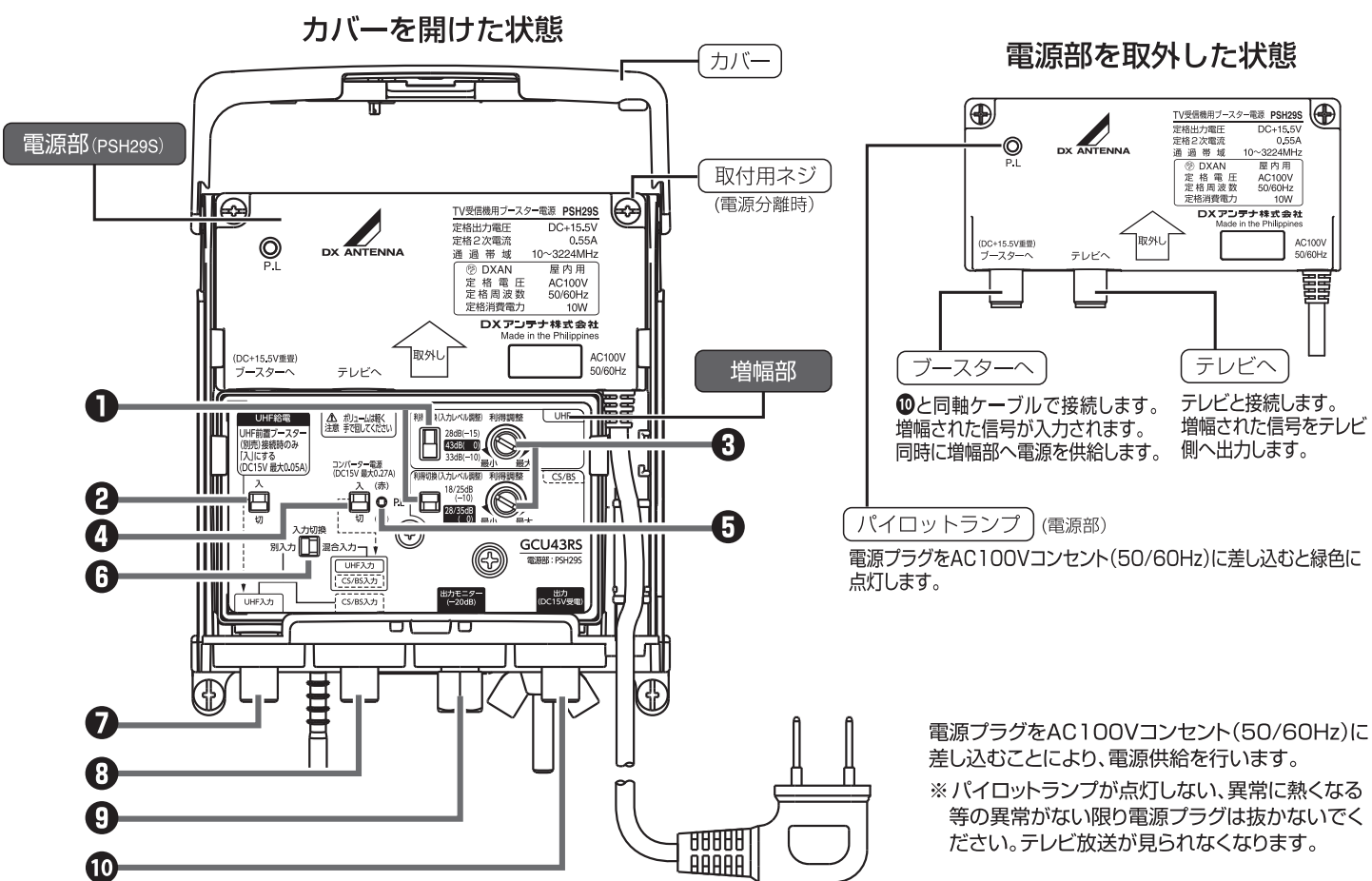
禁止

締め指示

注意

1 各部の名称

※下部スイッチ位置は出荷時の設定です。出荷時のボリューム位置は最大側です。
※各スイッチおよびボリュームは手で軽く回してください。強く回すとボリュームが破損する恐れがあります。



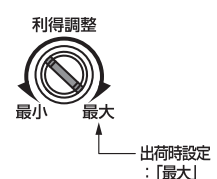
1 利得切替(入力レベル調整)スイッチ
アンテナからの入力信号を調整できます。



2 UHF 給電スイッチ
増幅部とUHFアンテナ間に別売のUHF 前置ブースターを接続する場合に「入」にします。
(電源供給が同軸ケーブル重畳方式の前置ブースターの場合)

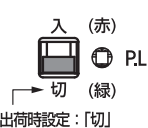


3 利得調整ボリューム
各帯域において、利得を10dB連続で可変できます。
※ボリュームは必ず手で軽く回してください。

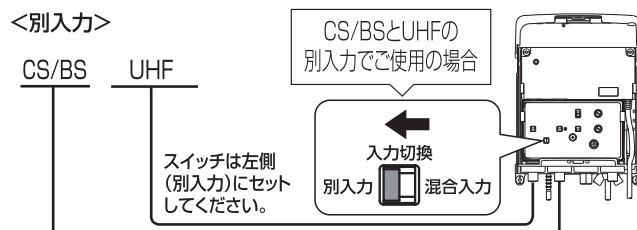
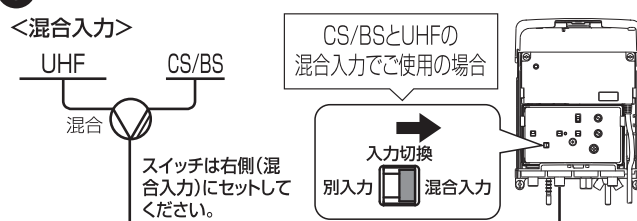


4 CS/BS 給電スイッチ / 5 P.L.(パイロットランプ)

CS/BS コンバーター用電源を供給する場合に使用します。
電源を供給するとパイロットランプが赤色に点灯します。



6 入力切替スイッチ



7 UHF 入力端子
UHFアンテナに接続します。②を「入」にするとUHF前置ブースター(別売)に電源を供給できます。

8 CS/BS 入力端子 / UHF・CS/BS 入力端子
BS・110度CSアンテナに接続します。④を「入」にすると、CS/BSコンバーター用電源(DC15V、最大0.27A)に電源を供給できます。

9 出力モニター端子(-20dB)
レベルチェッカー等を用いてレベルを確認する場合に使用します。
出力モニター端子を使用しないときは、付属のモニターキャップを必ず取り付けてください。

締めトルク: 2N・m

10 出力端子
増幅された信号が出力されます。

注意 誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害の発生に結びつく可能性があるもの

テレビ受信工事には技術経験が必要です
アンテナ関連の設置や配線、接続、調整、移設、撤去については、販売店・工事店にご相談ください。

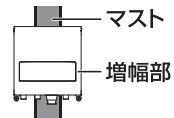
注意

AMラジオから1.5m以上離して使用する
AMラジオの近くで使用するとラジオ音声にノイズが入る場合があります。

注意

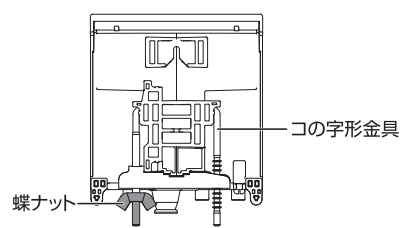
2 取付方法

垂直マストに取り付ける

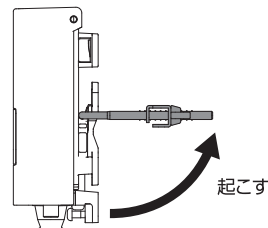


取付可能な場所と取付方法	増幅部	屋内・屋外	マスト取付・ステンレスバンドによる取付・壁面取付
電源部	屋内のみ	壁面取付、または据え置き	

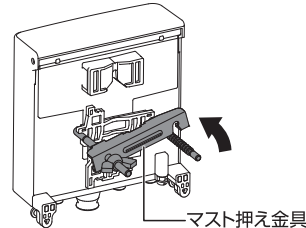
1 蝶ナットを緩める



2 コの字形金具を90°起こす



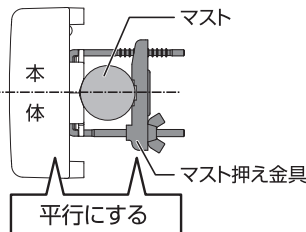
3 マスト押え金具の一方(右側)をはずす



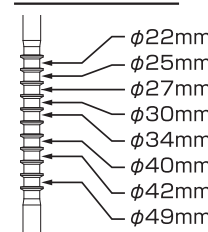
4 本体とマスト押え金具でマストをはさむ

本体は入出力端子が下向きになるように取り付けてください。

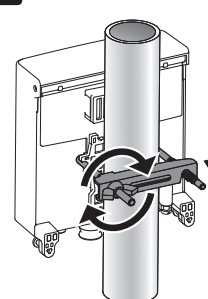
〈上から見た図〉



取付マスト径の目安



5 マスト押え金具をしっかりと引っ掛け、蝶ナットをしっかりと締め付ける



マスト押え金具を奥までしっかり引っ掛けてください。
●隙間があると脱落や事故の原因になります。
その後、蝶ナットをしっかりと締め付けてください。

締め付トルク: 1~1.5N・m

奥までしっかり引っ掛ける

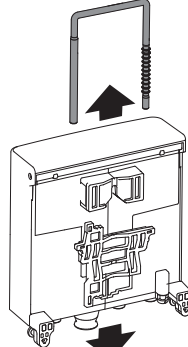


水平マストに取り付ける

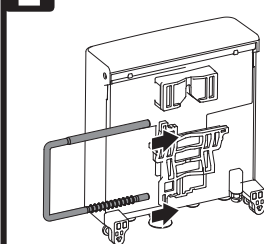


コの字形金具を付け換えると、水平マストにも取り付けできます。付け換え手順は下記をご覧ください。

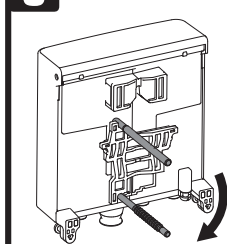
1 コの字形金具をはずす



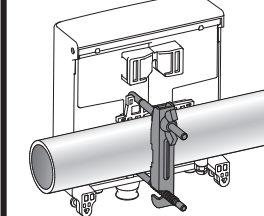
2 差し込む



3 90°起こす



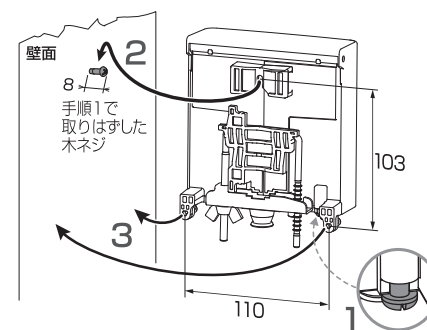
完成図



上記「垂直マストに取り付ける」4、5を参考に、マストへ取り付けください。

壁面(板壁)へ取り付ける<本体ケース>

本体ケースは、下記の手順1~3で壁面(板壁)に取り付けることができます。



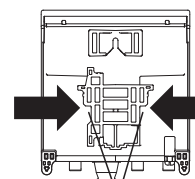
- 1 本体ケース下部にセットされている木ネジ1本を取りはずし、壁面(板壁)に取り付ける(木ネジ長さ:8mm) 収容箱や、天井近くに取り付ける場合は、フタの開閉のため、天井と木ネジとの間を60mm以上開けて取り付ける
- 2 手順1で取り付けした木ねじに本体を引っ掛ける
- 3 本体ケース下部にセットされている木ネジ2本でしっかりと壁面(板壁)に取り付ける

注意 本体ケースを収容箱に入れて取り付ける場合は、直射日光をさけて、入出力端子が下向きになるように取り付けください。

ステンレスバンドで取り付ける

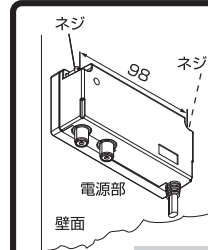
(φ49mmを超える垂直マストに取り付ける場合)

市販のステンレスバンド(10mm幅)を本体裏面の側面穴に通して取り付けください。



ステンレスバンド通し穴(左右どちらからでも通せます)

電源を分離して取り付ける

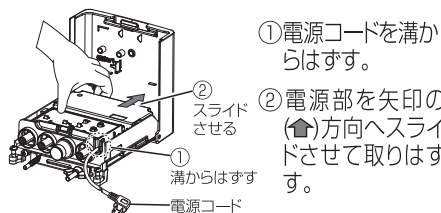


- 1 本体カバーをいっぱいまで開き、電源部をスライドさせて取りはずす
- 2 電源部にセットされているネジ2本で、図のようにしっかりと壁面(板壁)等に取り付ける

注意
●電源部は風雨のあたらない屋内に設置してください。
●電源部を屋外設置する場合は、防水・防雨ならびに放熱処理を施した収容箱内に端子が必ず下向きになるように設置してください。

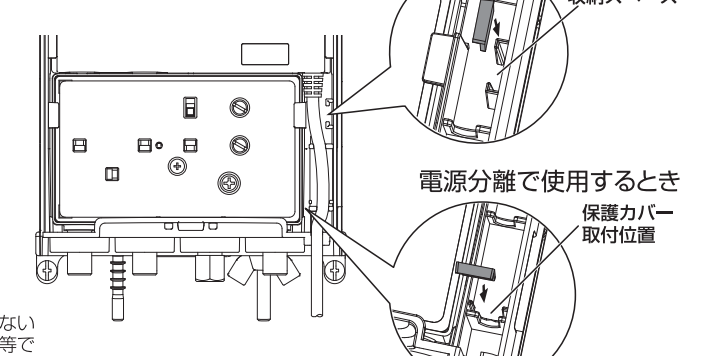
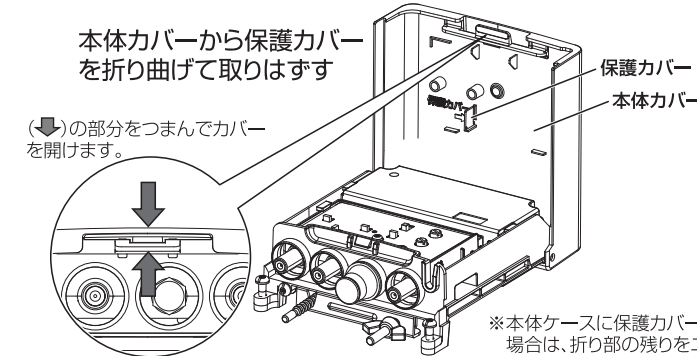
電源分離の仕方

注意 電源分離で使用する場合は、電源部は屋内に取り付けてください。



虫などの侵入を防ぐために、本体カバーに設置されている保護カバーを使用することができます。電源コードの接続方法によって、保護カバーの取付位置を変更することができます。

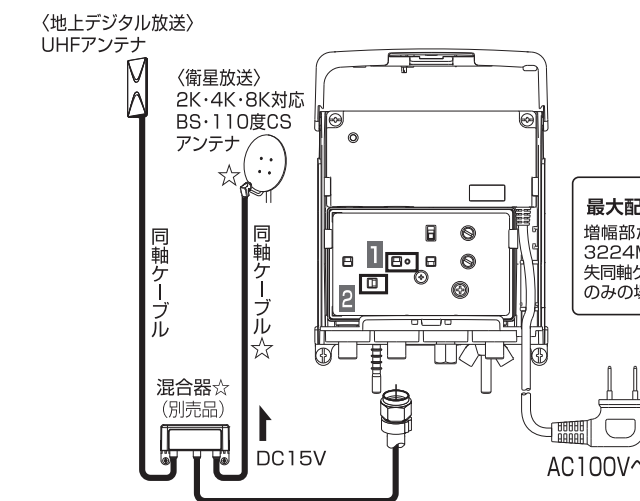
本体カバーから保護カバーを取りはずした後、保護カバーを使用しない場合は、紛失しないように収納スペースをご利用していただくと便利です。



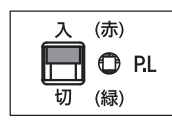
3 接続例

接続方法は、電源部内蔵で設置する場合と電源部を分離して設置する場合の2通りあります。屋外に設置する場合は、電源部のACコードに水がかからない軒下や家屋の側壁などに設置してください。また接続端子には、必ず付属の防水キャップを取り付けてください。
※4K・8K放送(新4K8K衛星放送)を見るためには、4K・8K放送に対応したケーブルや☆印の機器(3224MHz)が必要です。

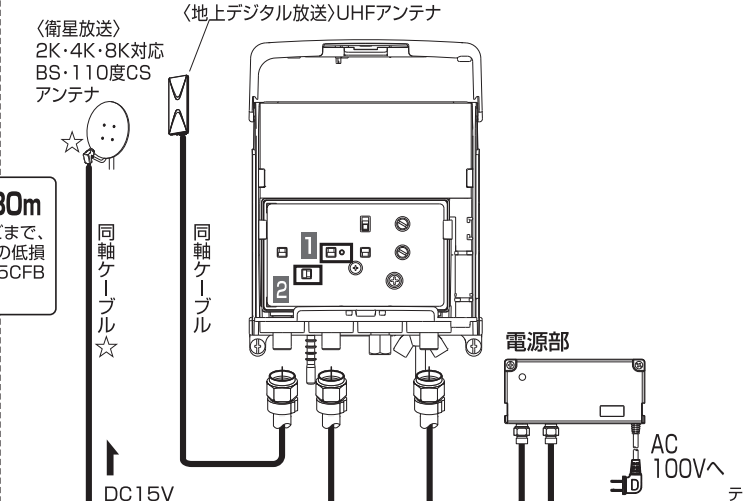
〈例1〉・BS・110度CSとUHFを混合して入力するとき
・本体に電源を内蔵して使用するとき



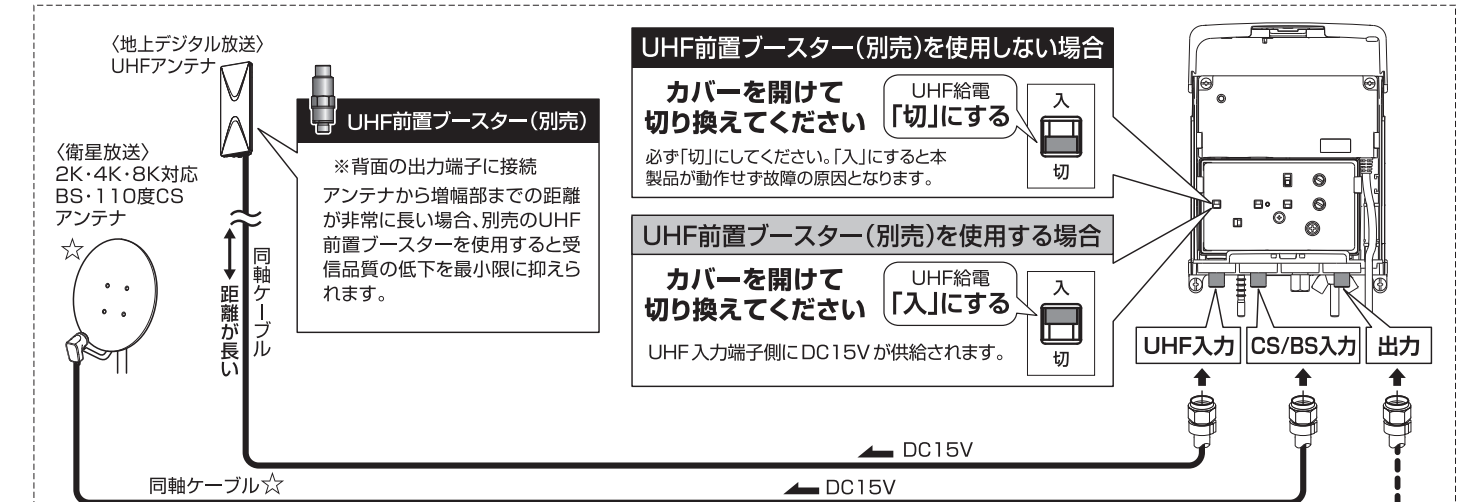
- 1 CS/BS 給電スイッチを上側の位置「入」にします。パイロットランプ(P.L)が赤色に点灯します。
- 2 入力切換スイッチを右側の位置「混合入力」にします。



〈例2〉・BS・110度CSとUHFを別入力するとき
・電源を本体から分離して使用するとき



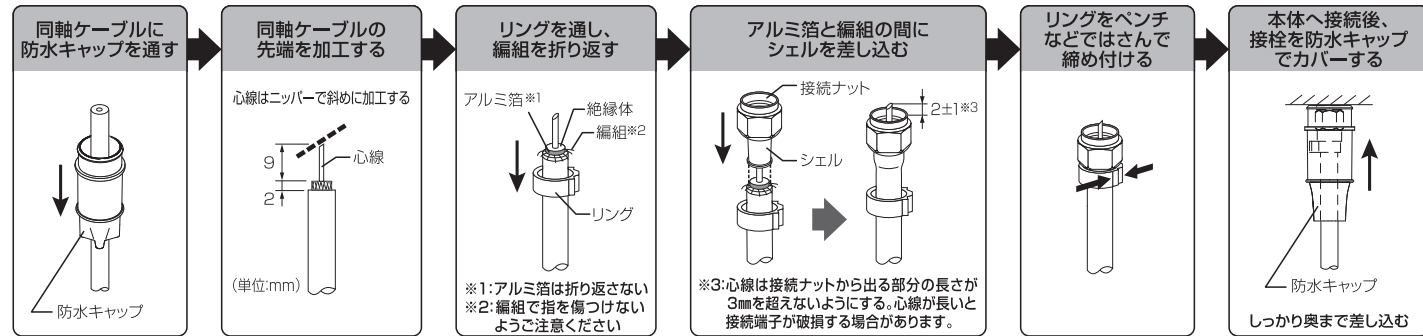
- 1 CS/BS給電スイッチを上側の位置「入」にします。パイロットランプ(P.L)が赤色に点灯します。
- 2 入力切換スイッチを左側の位置「別入力」にします。



接栓への同軸ケーブルのつなぎ方

■F-5 接栓(付属品)への同軸ケーブルの加工方法(S5CFB 相当ケーブルの場合)

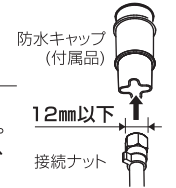
接栓締付トルク: 2N・m



- 注意**
- 新4K8K放送をご覧いただく場合は、2K・4K・8K対応の低損失の同軸ケーブルを使用してください。
 - 同軸ケーブルの先端加工をする際は、心線、編組に傷をつけますと断線の原因となります。
 - 心線と編組は絶対に接触させないでください。故障の原因となります。
 - 心線に付着物が残っている場合があるので、心線をきれい(1)に磨いてください。付着物が残っていると接触不良の原因となります。

ご参考 付属の防水キャップは接栓の加工後でも、接続ナットの対辺が12mm以下であれば取り付けることができます。

ご注意 接栓の加工後に防水キャップを通す際は、心線で手を突くなどしてけがをしないようご注意ください。(特に冬季などの低温時は防水キャップが硬くなり、通しにくい場合がございます)



4 調整する

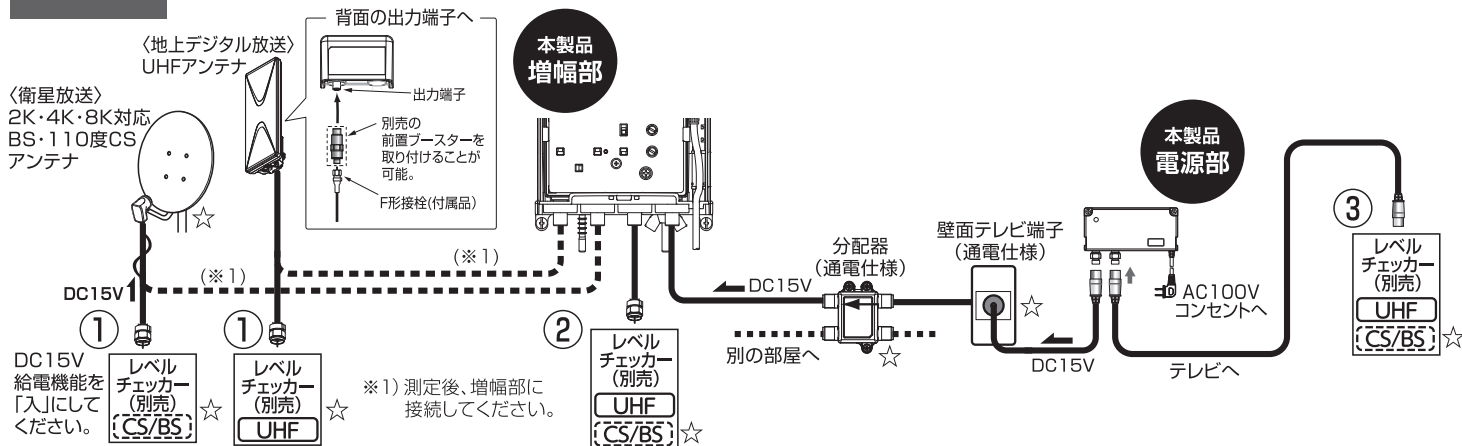
■電源部の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込み、増幅部と電源部のパイロットランプがともに点灯することを確認してください。

＜パイロットランプが消灯している場合＞…「こんなときは」を確認し、問題を解決してください。

※イラストは電源分離で接続しているときを記載しています。

※4K・8K放送(新4K8K衛星放送)を見るためには、4K・8K 放送に対応したケーブルや☆印の機器(3224MHz)が必要です。

調整をはじめる前に



① 入力レベルの確認

ブースターへの入力レベルをレベルチェッカー(別売)で確認し、受信可能なチャンネルの入力レベルに応じて「利得切換スイッチ」を選択してください。

- 入力レベル範囲の下限(UHF: 41dB μ V)に満たない場合
アンテナの方向の再調整を行なってください。それでも改善しない場合は、前置ブースター(別売)の追加や、高利得/狭指向性アンテナへの変更の検討が必要です。
- 入力レベル範囲の上限(UHF: 77dB μ V)を超える場合
別売のアッテネーターを使用して調整してください。

BS・110度CSアンテナから同軸ケーブルが長いとき
0dB側にしてください。

帯域	入力レベル	利得切換スイッチ	帯域	入力レベル	利得切換スイッチ
UHF	56~77 dB μ V	28dB(-15) 43dB(0) 33dB(-10)	CS/BS	54~79 dB μ V	18/25dB(-10) 28/35dB(0)
	41~62 dB μ V	28dB(-15) 43dB(0) 33dB(-10)		44~69 dB μ V	18/25dB(-10) 28/35dB(0)
	51~72 dB μ V	28dB(-15) 43dB(0) 33dB(-10)	入力レベルの測定値によって、複数のスイッチに当てはまる場合は、高い利得側を選択してください。		

② 出力レベルの確認

出力モニター端子にレベルチェッカー(別売)を接続して定格出力レベル(出力モニター端子レベル+20dB)を超えないように利得調整ボリュームを調整してください。

帯域	定格出力レベル	利得調整
UHF	105 dB μ V	最小 最大
CS/BS	97(1032MHz) / 100(2150MHz) dB μ V	

③ 最終チェック

テレビへの入力レベルをレベルチェッカー(別売)で確認し、右表(※1)の範囲であることを確認してください。最後にテレビで、受信可能なチャンネルの映像が正常に映ることを確認してください。

- レベルの上限を超える場合
利得調整ボリュームで調整してください。調整できない場合は、利得切換スイッチを再調整してください。

(*1)		(<ご参考>)		利得調整 最小 最大
帯域	テレビ入力レベル	壁面テレビ端子出力レベル		
UHF	47~81 dB μ V	UHF	50~81 dB μ V	最小 最大
CS/BS	48~81 dB μ V	CS/BS	54~81 dB μ V	

● レベルの下限に満たない場合
「こんなときは」をご確認後、お買い上げの販売店、および工事店にご相談ください。

こんなときは (調整しても放送が映らない場合や、ブロックノイズがでる場合は下記項目をチェックしてください。)

ご参考

テレビの設定メニューなどで表示・確認できる「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値が、ブースターを使用しても変わらない、あるいは下がる場合がありますが、これらの機能はアンテナの方向調整を目的にしたもので、電波の強さ(レベル)を示すものではありません。受信品質を向上させるためにはアンテナの高さや方向を再調整する、または高性能アンテナに変更する必要があります。

ここをチェック	上ページの3接続例とあわせてご覧ください	対策・処置のしかた
以前から地上デジタル放送は映っていましたか?		受信品質が低いために以前から映っていなかったり、視聴エリアではない電波塔にアンテナを向けても映るようになりません。
UHFアンテナの向きが、お客さまの視聴エリアの電波塔に向いていますか?		受信品質を改善するにはアンテナの方向や高さを変えたり、高性能アンテナに交換する等、お買い上げの販売店、または工事店にご相談ください。
各機器の端子へのケーブル接続は正しくつながっていますか?		各機器の端子の接続を確認し、間違っている場合は接続しなおしてください。
電源部のパイロットランプ(P.L)が消灯していませんか?		接栓の心線が曲がって接続されていたり、心線に編組(網)線が接触(ショート)していると映りません。 接栓加工部分を確認し、接続しなおしてください。
前置ブースター(別売)用のUHF給電スイッチが「入」になっていませんか?		前置ブースター(別売)を使用していない場合は、必ず「切」にしてください。 「入」にすると、アンテナがショートして故障の原因となります。
テレビのアンテナレベルがテレビの受信推奨レベル以上になっていますか?		ご使用のテレビの説明書の受信推奨レベルをご確認いただき、テレビの「初期設定」の「アンテナレベル」を画面で確認しながら、再度増幅度を調整してください。 →調整のしかたは「4調整する」参照
BS・110度CS 4K・8K放送が映らない		BS・110度CS 4K・8K放送(3224MHz)に対応しているテレビや機器を使用しているか確認してください。 ご不明な点は、お買い上げの販売店、または工事店にご相談ください。

保証書

(2208-08-01)

■保証期間

製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(レシート、納品書など)に記載されている購入日より1年間、本製品を本規定に従い無償修理をすることを保証いたします。※消耗品は除く

保証期間
1年間

■無償修理

保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターに送付してください。弊社修理センターへご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。

■適用の除外

- 次のような場合には保証期間中でも有償修理となります。
- ①ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争、暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害または、ねずみや昆虫、鳥などの動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷。
 - ⑥製品の保証書または購入日が確認できる購入証明書(レシート、納品書など)を提示、添付されていない場合。
 - ⑦保証書にお買い上げ年月日、お買い求めの販売店の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。

⑧譲渡品、転売品または中古品として本製品をご購入された場合。(リサイクルショップでの購入、オークション購入での中古品を含む)

⑨その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。

■免責

- ・本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- ・本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■その他

- ・保証書の再発行は行いません。
- ・修理で交換された故障製品および故障部品の所有権は、弊社へ帰属とさせていただきます。
- ・製品修理にかかる付帯費用(運賃、設置工事費、人件費)については、弊社は一切の費用負担を行いません。
- ・有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
- ・同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と、交換させて頂く場合があります。

■有効範囲

本保証規定に基づく保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

お買上年月日	ご購入店	ご住所・ご店名
年 月 日	販売店	電話()

カスタマーセンター
土・日・祝日もご利用ください!



0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

DXアンテナ株式会社
6157-2

■受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
■一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合: 050-3818-9016

ホームページアドレス
https://www.dxantenna.co.jp/

(1908)